

令和7年度とよたシニアアカデミー通年コース

文化工芸学科 6月の講座風景

狂言を楽しむ② 6/4(水)



講師 能楽師 井上松次郎氏



四隅の柱の役割は…



舞台上での所作の体験

【ふり取りより】

- 能楽堂の舞台に上がり、とても貴重な体験をした。発声や所作の体験は、観る人に分かりやすいように工夫されていて、日本の古典芸能の奥ゆかしさにふれることができた。
- 能楽堂に入った途端、その世界観を感じることができました。
- 能や狂言、歌舞伎を身近に感じられるようになりました。もっと古典芸能に興味を持ち、ふれる機会を持ちたいと思います。



「鏡の間」から、さあ舞台へ出ます！

日本の文化を考える 6/16(月)



講師 長澤 志穂氏



国によって芸術の味わい方に特徴がある

【ふり取りより】

- 日本人の考え方やふるまい方のルーツが良く分かり楽しく受講できた。
- 日本、中国、朝鮮の古来からの関係が整理できて、とても勉強になりました。お互いに似た部分、違う部分を認め合いながら、共存出来たら良いですね。

東アジア各国を比べてみると、日本は「道理」「理念」より「情緒」を、「文明」より「自然」を大切にしていることが分かってきました。



受講生からの質問も沢山出ました



分かりやすい言葉で解説する講師



6月は、豊田市能楽堂の舞台に上がって狂言の台詞と所作を練習しました。体験を通して「狂言って面白いな…」と感じた受講生も沢山いた様です。次の講座は、同じ参合館内でもガラッと変わって9階、多目的ルーム。バッハから現代までのチェロにまつわるお話を、素敵なチェロ演奏と共に楽しみました。

講座をきっかけに、新しい世界への関心が広がって行くと良いですね！



チェロ演奏の歴史 6/18(水)



講師 山田 真吾氏



生演奏にうっとり…



チェロはヴァイオリン属の楽器



もっと近くでチェロを見よう！

【ふり取りより】

- コンサートでは聴けないお話がいっぱい聴けて楽しかった。間近で演奏を聴き、チェロの迫力を体中に浴びました。
- 環境破壊による楽器の高騰。奏者の方には頭が痛いですが、頑張してほしいです。
- 弓の違いで音色が変わるという聴き比べをしました。プロの演奏を聴くことができ、チェロについての講話や音楽の歴史の話など大変興味深かった。



古典文学へのいざない① 6/30(月)



講師 鈴木 辰夫氏



久しぶりに「徒然草」を読みました



講座終了後、講師と話す受講生たち

「徒然草」について

- ・作者：卜部兼好(1283年？～1352年？)
- ・48、49歳頃の作品

今回のテーマは、「徒然草の人間論」

卜部兼好における人間像～幻想というもの～

第七十三段を読んでみましょう！

「とにもかくにも、虚言多き世なり。ただ常にある、珍しからぬ事のまにに心得たらん、万違ふべからず。下さまの人の物語は、耳驚く事のみあり。よき人は、怪しき事を語らず」